

慈恵園だより

No.43

えがお

- 発行日／平成25年11月17日
- 発行所／芦別市旭町28番地
特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
- 発行責任者／川邊弘美
- 印刷所／働ワタナベ企画いんさつ



えがお塾

ひぐらし・幸町教室 25年度 終了しました!!



5月から開催していた『えがお塾』のひぐらし教室と幸町教室が10月29日に修了式を迎えました。いつもの健康体操で始まり、最終日という事で『脳の健康診断』を行い、皆さんドキドキされていたようです。サロンではハンドマッサージをしたり、お話も賑やかにとても和やかでした。いよいよ修了式の時間になり修了書と記念品をお渡しして、お一人お一人に感想をいただきました。「最初は参加するのに迷ったが来て良かった」「週1回が待ち遠しかった」などのお話でした。その中でひぐらし教室の中尾様がお手紙を書いて下さいました。

「皆様と一緒に過ごしたひと時がとても楽しかったです。温かい笑顔、心情を頂き、ポケットに入れて夫のいる家に帰ります。これから寒さに向かいますので、くれぐれもお体に気をつけてください。春を待ち、お会いする日を楽しみに待ちます。この教室は名づけてその心は、可憐な、叶わぬ恋の象徴『パンジーの花。』」

素敵なお手紙と皆さんの温かな言葉にスタッフも感動して涙ぐんでいました。また、来春お元気でお会いしましょう。

施設長 川邊 弘美

おめでとうございます!!



湯浅栄子 様

100歳!!

5月26日に100歳の誕生日を迎えました。9月18日に、歌志内市役所より保健福祉課長の虻川様、主査の遠藤様が来園され当園の会議室にて記念品授与式が行われました。

感謝状と記念品の銀杯を頂き「どうもありがとう。嬉しいね、万歳!」とお話されています。ユニットでも100歳記念パーティーを開催し手作りケーキでお祝いしました。

湯浅様に100歳まで元気で過ごす秘訣は?と尋ねると「自由自在!」とお答えになられていました。これからもお元気で過ごして頂きたいと思います。

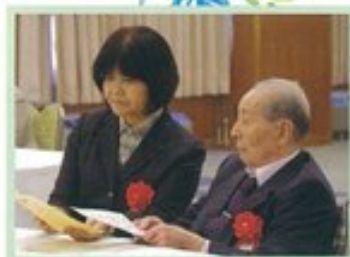


廣嶋 武 様

市政功労章受章

11月3日、平成25年度芦別市功労者善行者表彰式で廣嶋武様が功労章を受章されました。これは国民健康保険運営協議会委員として精励されたことにより、厚生大臣表彰を受けられ、それに伴い市政功労者としての受章となりました。

当日はスーツに身を包み、会場に入られると凛とした表情で、来賓の方々の挨拶に手をあげて応えられていました。表彰式では奥様、慈恵園職員の見守り中、市長から功労章の楯を受けられた後は、晴れやかに記念撮影され、園に戻ると待っていた職員から花束贈呈を受け感激ひとしおの様子でした。



「みんなで介護を考える会事業所合同研修会」

『みんなで介護を考える会事業所合同研修会』が8月24日、芦別市福祉センターで開かれました。市内の介護保険事業所や関係機関などから40名が参加。手稲溪仁会病院・作業療法士 大堀具視先生を講師に、介護における『気づきと実践』をテーマに、グループ討議を交えて研修を行いました。利用者の出来ることに介護者が気づき、意思疎通と信頼関係による様々な実例をビデオで紹介しながら進められました。

出席者からは、「動き出しは本人から。介護者が待つことが大事だと分かった」、「自分が相手にすることの目的を伝えているか振り返るきっかけになった」など、たくさんの感想が聞かれました。



芦別慈恵園主催の第4回まちづくり講演会を開催します。

- ★日時 11月29日(金) 午後6時30分開演
- ★場所 芦別慈恵園デイサービスセンター
- ★演題 「町と住民たちと慈光園の取り組み～自分たちの町の暮らしは自分たちでつくる」



講師は、美瑛慈光会理事長 安倍信一氏です。
美瑛町は日本で一番、地域と一体になった高齢者ケアの進んでいる町の一つと言われています。高齢者が4割を超えた芦別でも、これからのまちづくりに向けて必要なものは何か、結びつくものがあるはずと。市民の皆様と一緒に考えてみたいと思います。
多数のご参加をお待ちしておりますので、どうぞお越しください。

運営推進委員 施設研修を実施しました



10月9日、かざぐるま運営推進委員の方々と、先駆的に地域福祉に取り組んで街づくりをしている美瑛慈光会で施設研修を行いました。

美瑛町では介護が必要となってからも自宅で、地域で暮らし続ける為に何が重要かということ、法人だけではなく、地域の代表の方、そして行政と一緒に取り組み、美瑛慈光園の運営する「小規模多機能施設」を中心に地域ごとに必要なサービスをつけることによって、在宅での暮らしを支えることが出来ているそうです。参加した運営推進委員の笹森さんから『芦別には小規模多機能施設は無いとの事ですが、市の財政援助がなくても似たような事が出来るのではないか』との質問がありました。



●運営指導から

7月11日、北海道空知総合振興局による社会福祉法人芦別慈恵園への運営指導がありました。2年に1回定期的に行われているもので、結果は概ね適正に運営されているものと認められました。

その上で以下の口頭による指導がありましたので、改善内容と共にお知らせします。

- ①火災時の避難訓練を消防署と協力して行うことについて、消防本部の立会・指導を受けて行うことになり、9月11日に実施しました。また、新たに自然災害に対する避難訓練を11月13日に実施する予定です。
- ②非常災害時の周知徹底を図るため、連絡表を改定し職員会議で周知しました。
- ③骨折事故の道への報告内容について解釈の修正を図り、事故発生時と治療終了時に報告書を提出することに改めました。

防災の日「炊き出し研修」

防災の日にちなみ、9月3日、災害時を想定した研修として、備蓄品の活用を体験するために、備蓄品のアルファ米、ビーフカレー、けんちん汁を調理して試食をおこないました。

実際に調理をおこなった事で、基本的な水、ガス、鍋等の確保が重要で、普段から経験を積むことが大切だと思ふなどの意見が出ました。

また改めて必要物品と保管場所を考える機会になりました。次回に向けては、各職種ごとの、電気の確保、寒さ対策について検討が必要であり、今後の防災対策に役立てていきます。



10月22日、在宅ケアのための料理と介護講座を実施しました。12名の参加あり、調理実習は、やわらか食の調理と芦別の食材を知ること、黒大豆ご飯、椎茸つみみ煮、南瓜のごま和え、すいとん汁、かあちゃん市やAコープで購入した地元食材を使い、メレンゲや絹豆腐を使ったやわらか食の調理を行いました。ご主人や子供、孫に作ってあげたいなど、ここでの調理実習を家で活かしたいとのお声を頂きました。介護講座は、慈恵園で取り組んでいるもみ塾講座を行い、肩こりや小顔になるツボを勉強しました。学んだことを続けていきたいと感想を頂きました。

在宅ケアのための料理と介護講座



かざぐるま

居酒屋 かざぐるま

9月10日夕方から、いつもお世話になっている町内会、ボランティア、運営推進委員の皆様をお招きして1年に1度の『居酒屋かざぐるま』を開店しました。

かざぐるま職員が作ったお食事を食べながら、かざぐるまの今後の取り組みを話したり、恒例のビンゴゲームでは、慈恵園特製の手打ちそばや芦別の商品が景品で皆さん真剣勝負でした。この日は新任された副会長お二人も参加され、これまでのかざぐるまの運営や町内会行事の参加などを質問されていました。かざぐるまは地域の皆様に支えられていることをあらためて確認することができました。



もみじの家

もみじの家では、秋の花々を楽しみに散歩へ出かけたり、山々の紅葉を視る為に、野花南、頼城、油谷とお客様のそれぞれ思い出のある山々をドライブしました。また10月には家族参観日を行いました。いつまでも家で暮らす事を前提に、介護されている中で困った事や不安などを聞きながら家族アンケートをまとめました。

お願い：不要となった「うす・粋」を譲って頂けません。お願い致します



えがお塾

●サポーター研修・懇親会を開催しました。



9月19日、教室サポーターさん、公文学習療法センターの岡田先生、橋本様をお招きし研修・懇親会を開催しました。和やかな雰囲気の中で、3年間の振り返りのパワーポイントを見て頂きながら、初心にかえって岡田先生のお話を聞かせて頂きました。

脳の健康教室は、教室サポーターの役割がすごく大きく受講者の方はサポーターのおかげで元気になる。仲良くなって地域が元気になるとお話しされておりました。

サポーターさんからは「なぜ、えがお塾が必要なのか」「サポーターとしてどのように接したらよいか」などの本音も聞かれ活発な意見交換が行われました。



幸町・ひぐらし教室



デイサービス



10月5日デイサービス家族懇談会を開催しました。お客様とご家族11名が参加。利用中の様子のスライド上映会や作業レク作品を展示しながらお話しをうかがったほか、今回はじめて、ご家族を対象に行ったアンケートの結果報告も行いました。

ご自宅では、お食事の味付け、固さなどにとても気を使っている事や夫婦世帯の方は会話がなくて悩むというお話。外出の機会が少ないといったお声のなか、「主人の笑顔を見ると介護の疲れが吹き飛ぶ。明日も頑張ろうと思う」という声を紹介させていただきました。

そのほか、送迎時の対応や、連絡帳への記載内容など、下半期に向け、修正すべき課題をいただきました。今回の懇談会の感想として、「どんな職員の方々なのか知れて良かった」「もっと個別のお話も聞きたかった」「認知症についてもっと勉強がしたい」といった声が寄せられました。

懇談会終了後は「第3回そば祭り」に切り替え、おいしい打ち立てお蕎麦に舌鼓を打ちました。



スマイルショット

もみ塾

9月26日に中央団地町内会で『もみ塾講座』を開催しました。

参加者は28名とたくさん来ていただきました。ヒーリングケアスクール札幌の男澤千恵子先生の講演では、先生が香りのプレゼントを持参。ピンピンコロリ（ハッカの香り）、ポケないかもしれない（ラベンダーの香り）のどちらがいいですかと問うと、皆さんは「ピンピンコロリ！」と大爆笑でした。次に先生がシルバー川柳を披露するとこれも大うけでした。実演では皆様が元気でいられるように、肩のマッサージ、手のツボをお伝えし一緒にツボ押しやマッサージを行いました。



職員旅行

8、9、10月と3班に分かれて、親睦会恒例、職員旅行会がありました。今回の行き先は北海道旅行の定番、定山溪。支笏湖のリゾートスパでのランチバイキングに舌鼓をうったあとは、支笏湖の水中遊覧船や豊平峡で紅葉見学など、北海道の四季を堪能。目的地のぬくもりの宿 ふる川さんの温泉で日頃の疲れを癒しました。

2日目は小樽を自由散策。車中でもイラストゲームやクイズなど盛り上がり、これからの仕事への英気を養いました。いや～、本当にいい旅行でした。



ミニバレー会長杯



10月13日(日)芦別市ミニバレーボール協会主催のミニバレーボール大会がありました。慈恵園からは男子2チーム、女子1チームが出場。芦別警察署のマスコット、アシポー君も応援に駆け付け、にぎやかな雰囲気の中、大会が行われました。

結果は、。。
男子の部 さくら 2位、
かざぐるま 3位
女子の部 あさひ 5位
今年度は12月に慈恵園杯、2月に芦別市主催の2回開催予定です。皆さんも是非応援に来てください。

芦別中学校 「総合学習」 福祉体験!



啓成中学校 「職場体験」



「踊り同好会」の発表会!!



イベント弁当

9月14日「秋の味覚弁当」67件121食の注文がありました。メニューは「栗ご飯」「椎茸包み煮」「鮭の塩こうじ焼」など、秋らしさが一杯です。次回もお楽しみに!!



ありがとうございました! 車椅子整備

9月7日、損保ジャパンとAIRジャパン有志の皆様が車椅子整備のボランティアに来てくれました。当日は、プロの整備士の方々など27名も来園され、慈恵園で使用している車椅子を50台以上もプロの技術で丁寧に点検・調整、清掃をしていただきました。

お客様からはびかびかの新車みたいになって乗り心地も良く感じるなど喜びの言葉がたくさん聞かれました。



ひろば

秋の思い出



◎「わたしは秋田(出身)だから秋と言えば稲刈りだね！
私の家は農家じゃなかったけど、親戚のところにお手伝いに行ったよ。わたしは秋田にいたから」
よく民謡歌ってらっしゃいますもんねと職員が言うと、
元気に秋田民謡を歌っていただきました。



◎「秋の思い出なにかありませんか」と何うと
「な〜んもない」
「紅葉狩りやぶどう狩り、栗拾いは
しなかったんですか」と何うと
「栗拾いは行ったよ〜」
「落ちて落ちて落ちてね、
拾ってきたのは茹でて干した」
栗拾いに行った場所を聞くと、
「ひみつ」と笑われ、
人には教えたくないっておきの
場所なようです。



代理店組織AIR
ジャパン北北海道支部
北北海道支店

懐損保ジャパン
踊り同好会、
劇団すぎのこ、

▽訪問・ボランティア
さくら、ふきのとう、
マーガレット、ミケ、
アトム、ともしび会、
はまなす、スマイル、
ビューティ、ながい樹、
斉藤龍彬 神田弘亜

▽寄付物品
(札幌市) 安藤郁夫
(室蘭市) 山本マキ子
(芦別市) 西井 賢 西本三平
旭町内会会長 西 英昭
大杉一郎

▽寄付金
(芦別市) 林敏彦 西澤栄次
安藤郁夫 古川武人

ご厚意ありがとうございます。
ございます。





なごみの丘 「秋の花植え」



スタッフ★コラム

2013年芦別の初雪は10月16日と記録的な早さでしたね。「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」・・・皆さんはどんな秋ですか？

今年も残すところあと2ヶ月。やり残したことはありませんか？ 思い立ったが吉日。やるなら「今」でしょ！

(船)

